

## 高校就職進路指導教諭と企業との意見交換会の実施結果 (高校就職進路指導教諭からのアドバイス紹介)

### 高校生の就職に関する傾向

#### ①生徒の就職先を選ぶ際に重要視しているポイント

- ・①給料②住居等の福利厚生③やりがい④休日(自分の時間を持ちたい)の順に優先度が高く、高校により、2番目以降が②自宅から通えること③職場見学等での雰囲気④具体的な仕事内容や、休日(目安は104日休み・週休2日)を最優先で考えるとの報告があった

#### ②最近の傾向

- ・親の意向が強い印象
- ・地元企業の認知度は低く、生徒、保護者も知らないと感じる
- ・生徒はコロナ禍以降、休むことに抵抗が無くなっている
- ・就職先の給料について、県外・都市圏就職であれば23~25万程度、鹿屋であれば16~18万程度で生活費等を考慮し検討する
- ・就職に関する口コミ、先輩社員の声の影響が大きい
- ・人間関係を理由に退職するケースが多いため、仲間づくりのサポートも必要

#### ③就職先を選ぶ際に欲しい情報について

- ・「就職後の3年~10年後のモデルケース」や「やりがい」を示すことで生徒に紹介しやすい(学校においてどうやって生きていくか、どういった人生設計ができるか指導している)

#### ④保護者の就職先を選ぶ際に重要視しているポイント

- ・安心して子どもを送り出せる環境(寮や食事提供有り等)が整っていることを重視

### 地元企業へのアドバイス

- ・学校訪問を積極的にした方が良い。事前連絡することで柔軟に対応可能(学校により3月前半、7~9月が繁忙期のため避け、2月・5月頃がじっくり対応しやすい)
- ・企業担当者は、こういう人材が欲しい、こういうスキルが必要等の情報を学校に提供した方が対応しやすい
- ・生徒に現地で社内や工場等をリアルに肌で感じてもらい実感を湧かせることが重要
- ・生徒は地元企業の情報を知ったうえでホームページ等を参考に検討している
- ・地元就職のためには、生徒自身が地元でやりたいことを見つけ、働きたいと思うことが重要
- ・早い時期に就職希望者等がアルバイトで地元企業の仕事に触れることで就職先選定やミスマッチ防止等にも繋がるのではないかと